ぼくも一緒に連れてって

ペットと海外旅行をするには、どうしたら良いのか。

一緒に行くための４つの条件

1. マイクロチップ
2. 狂犬病ワクチン
3. 狂犬病検査
4. 検疫所へ連絡

ペットと海外旅行をするには、主に４つのプロセス（左記）が必要です。①マイクロチップの装着 ②狂犬病ワクチンの接種（２回）③狂犬病ワクチンが定着しているかを確かめる検査（抗体検査）④検疫所への連絡です。煩雑ではありますが、このような手順を踏めば、ペットとの旅行は決して夢ではありません。

飛行機でも一緒？

いくつかの航空会社では、犬や猫も一緒に機内に搭乗できるサービスがあります。もちろん「ケージやバッグ内に留めること」などの条件がありますが、貨物室よりはずっと快適で安心できる環境と言えます。

条件付きで機内持ち込みが可能な航空会社（一部）

- ルフトハンザドイツ航空
- デルタ航空
- エールフランス航空
- アリタリア航空
- エアヨーロッパ

※詳細は各社にお問い合わせ下さい

渡航先への確認も忘れずに

前述した４つの条件をクリアしても、国によっては渡航できない場合もあります。幸い、日本は狂犬病清浄国（狂犬病が発生していない国）であるため、受け入れられやすい国と言えますが、渡航先の在日大使館へ確認し、受け入れ条件等を確認しておくと良いでしょう。詳しくは、動物検疫所ＨＰをご確認ください。

http://www.maff.go.jp/aqs/animal/aq12-1.html

連れて行かないときは

連れていかないときには、ペットホテルやペットシッターといったサービスがあります。保険での補償はできませんが、長期間のお留守番となるため、なるべくわが子が安心できる環境を選ぶようにしましょう。毛布やおもちゃ等のお気に入りのグッズと一緒に預けると、より安心できるかも知れませんね。